

磐座遺跡



三島神社境内、本殿の前に磐座遺跡がある。

磐座とは、古神道における巨石に対する信仰のことである。また、その信仰の対象となる巨石そのものを指すこともある。

原始時代の人々は、巨石、巨木、森、滝などを神が宿る場所として崇めていた。また、神聖な場所に自然石を組み合わせて磐座をつくり、そこに神を祀り、神事を行っていた。

三島神社にある磐座は、1～2 m前後の石材が数個、組み合わされている。三島神社が創建される遙か昔から、この場所に神を祀り、神事を行っていた遺跡である。